

「那須塩原 温泉ワークスタイル」ワーケーション体験研修  
国立公園ワーケーショントークセッション



# 持続可能な観光地 那須塩原市



令和5年2月21日

那須塩原市長 渡辺 美知太郎

# 那須塩原市はこんなところ

観光

農業

環境

生乳産出額 全国 2 位



板室温泉

貴重な自然と温泉



日光国立公園



塩原温泉



那須塩原市



酪農



食

豊かな食を発信



旧青木家那須別邸



那須塩原駅

那須地区の玄関口

# 「那須野が原グリーンプロジェクト」

気候変動対策など環境政策へ積極的な取組 ⇒ ファッションではなく経済的視点で

- 「那須野が原グリーンプロジェクト」を令和2年6月始動
- 「ここに住んでいれば生き延びられる」持続可能なまちの構築

## 那須野が原グリーンプロジェクト

### PJ 1 地域再生可能エネルギー活用

- ・ゼロカーボン街区(脱炭素先行地域)構築

### PJ 2 施設、設備省エネルギー化

- ・スマートライティング導入

### PJ 3 気候変動影響適応

- ・気候変動リスク分析&予測

### PJ 4 分野横断的事項

- ・グリーンファイナンス活用

		2030年	2050年
	夏場の搾乳量	1% 減少 ↓	2% 減少 ↓
	ホウレンソウ 収穫量	減少なし	4% 減少 ↓
	水稻収穫量	3% 減少 ↓	4% 減少 ↓
	ネギ収穫量	減少なし	1% 減少 ↓

近い将来の気候変動リスク分析 令和3年度

# いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 in 那須塩原

ゼロカーボン・プラごみゼロ国体への挑戦

○ 那須塩原市の環境取組を全国に発信、そして「レガシー」へ

## 【ゼロカーボン】

- ・カーボンフリー電気で会場運営

## 【プラごみゼロ】

- ・会場で使用する製品からプラスチックごみ排出を抑制



トリアスロン会場  
小水力発電で充電した  
電気自動車で電力供給



那須塩原ブランド  
認定の「経木」を  
用いた当箱で選手  
や監督にOBENTO  
を提供



バイオ素材と再生素材  
で製造したプラ袋

# ゼロカーボンパークに登録されました 令和3年9月(全国3番目)

Nasushiobara city's efforts towards Zero Carbon



- ✓ 「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」宣言（令和元年12月3日 那須塩原市）
- ✓ 「日本版持続可能な観光ガイドライン」令和3年度モデル地区 選定（観光庁）
- ✓ 「世界の持続可能な観光地TOP100選」選出（グリーン・デスティネーションズ）

那須塩原市



環境省

- ✓ 日光国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2025
- ✓ 現地の地方環境事務所の全面的サポートと地域との一体的な取組
- ✓ 先進的な取組を行っている地域として情報発信

# 未利用温泉熱の活用を目指して

「**板室温泉**」豊富な湯量を誇る ⇒ 未利用の温泉熱に着目

○ 未利用温泉熱の活用は**CO2排出量削減**とともに燃料代抑制

- ✓ 板室温泉の旅館(ONSEN RYOKAN山喜)で、ヒートポンプの導入により温泉排湯の熱を給湯、床暖房、風呂昇温に利用する取組を実施  
⇒ 平成30年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰 受賞

《令和2年度》

- ・ 湯量豊富だが温度が低く化石燃料で加温  
⇒ 未利用温泉熱の事業性を有する可能性  
ゼロカーボン温泉地実現可能性調査の対象地に選定

《令和3年度》

- ・ 未利用温泉熱活用には関係者の理解促進が必要  
⇒ **地域関係者主体「温泉熱利用」**意見交換

《令和4年度》

- ・ 市全域で希望者に**実装に向けた相談会**開催

※ いずれも環境省事業により実施



地域関係者による意見交換

# 温泉供給設備の高効率化で二酸化炭素排出量削減

温泉供給設備をはじめ温泉地における電力需要は大きい ⇒ 省エネの必要性

○ エネルギー効率改善とCO<sub>2</sub>排出量削減に直結する温泉供給設備改修

## 【市の取組】

- ・ 山間部にある塩原地区で市が温泉を集中管理  
現状：高低差があり**ポンプ**を用いて配湯  
課題：施設の老朽化  
⇒ 令和2～5年度 改修  
⇒ ポンプのインバータ化で**高効率化**実現



## 【民間の取組】

- ・ 旅館では給湯、暖房、加温などの熱需要  
現状：**化石燃料を大量に使用**  
課題：燃料費の負担  
⇒ 設備改修に合わせて高効率化検討(塩原、板室)  
⇒ **高断熱改修、ヒートポンプ導入**など



# 地域資源「地熱」の地域と調和した利用に向けて

塩原地区は地熱開発の有望地と目されている

- 温泉地である塩原地区において、地熱開発は地元理解が不可欠
- 市は「地域と調和した」再生可能エネルギーを積極導入

## 【東京電力リニューアブルパワーの取組】

《令和2～3年度》

- ・ 地域調和のもと再エネ導入を図る  
⇒ 市の方向性と一致、事業に賛同
- ・ 地熱資源利用を考える会、ワークショップ
- ・ 「塩原地域地熱を考える会協議会」発足  
⇒ 地熱開発に関する地域の意思決定機関



《令和4年度》

- ・ 環境調査など地熱開発に関する基礎的調査を実施

# 観光地の交通手段に脱炭素の提案

自動車での移動に頼らざるを得ない地方の観光地 ⇒ 自動車の脱炭素化が必要

- 塩原温泉地区でグリーンスローモビリティを用いた自動運転バスの実証実験
- 実証実験結果をもとにCO<sub>2</sub>を削減する新たな交通手段の検討

## 【実証実験】

実施期間：令和4年5月21日～6月5日

乗車人数：1,008人

アンケート結果：満足度92%



# プラスチック～使わなくてもいいじゃない

プラごみゼロは脱炭素の観点からも積極的に取り組みたい

○ 塩原温泉地区では地域関係者が主体となって紙袋の活用に取り組む

## 【オリジナル紙袋製作】

- ・ 観光事業者と地域住民で構成する協議会の取組
- ・ プラスチックごみの削減のためオリジナル紙袋製作



- ・ 自然豊かな環境に優しい塩原温泉をモチーフとしたロゴを使用
- ・ 古紙パルプ配合率100%の紙を使用

# 持続可能な観光地を目指します

那須塩原市の「持続可能な観光地づくり」の取組が認められました

## ○ 那須塩原市観光マスタープラン「サステナブルな観光地づくり」

### 【日本版持続可能な観光ガイドライン】

- ・ 令和3年度「日本版持続可能な観光ガイドライン」モデル地区選定
- ・ トレーニングプログラムやフィールドワークを通し課題抽出と改善に向けた取組の検討  
⇒ 全国の先駆的な役割を担うことに

### 【世界の持続可能な観光地】

- ・ 世界の持続可能な観光地TOP100に選出
- ・ 「グリーン・ディステイネーションズ」が本市の持続可能な観光に関する取組を評価

### 【オーバーツーリズム対策】

- ・ 木の俣園地で駐車場不足による交通渋滞やごみの投棄が発生  
⇒ 那須塩原市木の俣園地条例制定  
禁止や制限を伴う利用ルール明確化  
駐車場有料化：管理費用受益者負担



自然豊かな木の俣園地



夏季の渋滞

# 那須塩原市が提案する持続可能な観光地モデル

本市独自の「持続可能な観光モデル」の取組 ⇒ 関係者の合意形成

○ 「信頼」、「ウェルネス」、「責任」がキーワード

## 【信頼：安心、安全】

- ・ 感染対策の見える化  
⇒ 事業者認証制度導入  
⇒ 観光事業者のPCR検査実施

## 【ウェルネス：心と身体のケア】

- ・ 地域特性を活かしたウェルネス・ツーリズム推進  
⇒ 自然＋温泉＋美味しい料理＋文化
- ・ ワークーションへの積極対応

観光客

3者の  
合意形成

事業者

地域住民

## 【責任】

- ・ 観光客責任：感染リスクが低い観光客優遇プログラム
- ・ 行政責任：環境保全や感染対策応援金の仕組みづくり  
⇒ 環境や医療での使用を目的とした「税」の導入

# ONSEN・ガストロノミーウォーキングのすすめ

那須塩原市ならではの自然を満喫し、歴史や文化を知り、食を楽しむ

○ ONSEN・ガストロノミーウォーキングの開催

## ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 那須塩原2020・板室

実施時期：令和2年11月7日

参加人数：98人

アンケート結果：満足度99%



## ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 那須塩原2021・塩原

実施時期：令和3年5月30日

参加人数：93人

アンケート結果：満足度99%



## ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 那須塩原2022・西那須野

実施時期：令和4年11月26日

参加人数：155人

アンケート結果：満足度97%



# ワーケーションへの誘い

首都圏の「秘湯」でワーケーション ⇒ 日常と非日常の共存

- 湯治場「板室温泉」や文豪が愛した「塩原温泉」は逗留に最適
- 整備済みの Wi-Fi 環境が利用可能

## 【快適な仕事環境】

- ・ フリーWi-Fiスポット整備  
⇒ 一部は自然豊かな屋外でも利用可能
- ・ コワーキングスペース提供旅館あり

## 【仕事の合間のリフレッシュ】

- ・ 四季を楽しめる自然が身近に
- ・ 多彩なネイチャーアクティビティ



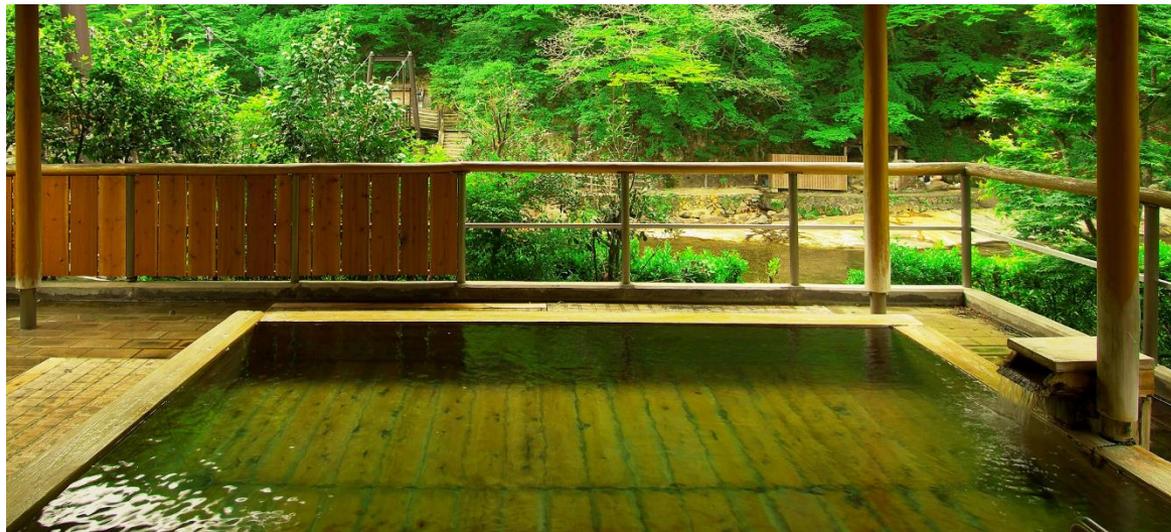
# ゼロカーボンパーク・ワーケーション～那須塩原 温泉ワークスタイル～



旅館など室内はもちろん  
屋外もつながる充実したWi-Fi環境



豊かな自然を満喫し温泉を堪能しながら  
リラックスして働く



ゼロカーボンパークに登録されている塩原温泉・板室温泉



休暇時間はネイチャーウォーキングなどの  
プログラムでリフレッシュ



©みるひい 那須塩原市

沼ッ原湿原

ありがとうございました